書式第１２号（法第２８条関係）

令和４年度　事業報告書

令和４年４月１日から令和５年３月31日まで

特定非営利活動法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

1．事業の成果

A　環境教育の事業

A.1　環境教育プログラム研究開発・実践活動・発信活動

A.1.1 環境教育プログラムの研究開発

- 年間９回開催した環境学習体験会（プログラムづくりワークショップ）を軸に環境教育のプログラムづくりが進められた。内容は以下の通り。

月日	内容	場所	体験とプログラム教材開発	参加数	スタッフ
4月24日	第1回環境学習体験会	蓮根第二小学校	プログラム「そっとのぞいて見てみよう」の体験・ビオトープの保全活動	11	5
5月22日	第2回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「綿から糸を紡ごう」の体験・綿栽培の資料づくり①	8	5
6月26日	第3回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「風となかよし（風力発電体験）」の体験・綿栽培の資料づくり②・紙芝居づくり①	8	6
7月24日	第4回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「住み続けたい私たちのまちを考えよう」の体験・紙芝居づくり	10	6
9月25日	第5回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「どんぐりコロコロお山はおおさわぎ」の体験・新規プログラムづくり①	6	5
10月30日	第6回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「食品ロスを減らそう」の体験・新規プログラムづくり②	11	5
11月27日	第7回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「水となかよし」の体験・新規プログラムづくり③	6	4
1月22日	第8回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「環境キャリアを考えよう」の体験・新規プログラムづくり（箸づくり体験）	9	6
2月19日	市民向け講座	エコポリスセンター	箸づくり体験・前田博之氏講演会	一般 11 学生 17	6
3月26日	第9回環境学習体験会	エコポリスセンター	自己紹介（はじめまして）・ネイチャーゲーム「動物交差点」の体験	16	5
				113	52

環境学習体験会では、既存の環境学習プログラムの紹介、紙芝居などの教材づくり、そして 2 月に行う木工作の体験活動と講演会の準備をワークショップ形式で実施した。2 月の講演会を除く計 9 回の活動に 132 人（うちスタッフ 46 人）が参加し、活発な議論が行われた。

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	**2022**
回数	-	-	-	-	-	-	-	7	8	6	8	7	6	9	9	**9**
参加者数	-	-	-	-	-	-	-	74	82	74	166	101	82	152	146	**132**
1回あたり	-	-	-	-	-	-	-	10.6	10.3	12.3	20.8	14.4	13.7	16.9	16.2	**14.7**

本活動を通じては、プラスチックごみを題材とした「シロちゃんがいる海」の紙芝居も作成した。教材の洗練化や新たなプログラム案の検討の場としては引き続き広がりがみられたほか、ボランティアに初めて参加する他大学の学生や社会人にとっては参加しやすい活動となった。

- 継続して行っている環境学習プログラム研究会は、臨機応変に実施できるプログラム開発の場となっている。内容は以下の通り。

月日	内容	場所	検討内容等	参加数
4月29日	第1回研究会	エコポリスセンター	年間計画の作成（食品ロス・プラごみ・温暖化・在来種など）	5
6月18日	第2回研究会	エコポリスセンター	食品ロス・キャリア教育 紙芝居計画の確認（お日様となかよし・花ちゃんとまめっこ・少女カオ・フワコロなど）	5
7月30日	第3回研究会	エコポリスセンター	まちづくり・プラごみ	6
8月20日	第4回研究会	エコポリスセンター オンライン併用	ビオトープ・食品ロス・プラごみ・キャリア教育	10
9月3日	第5回研究会	エコポリスセンター	プラごみ・食品ロス・飼育・キャリア教育	8
10月2日	第6回研究会	石坂の森	自然観察会	19
11月23日	第7回研究会	エコポリスセンター	プラごみ・ビオトープ・キャリア教育 紙芝居（少女カオ）	5
1月28日	第8回研究会	エコポリスセンター	ビオトープ・飼育（チョウ）・木工作	7
3月4日	第9回研究会	エコポリスセンター	キャリア教育・飼育（チョウ）	6
				71

計 9 回の活動に 71 人が参加した。今後、現役の教員などの参加が増える活動へと推移させていきたい。

- 保育園向けプログラム開発は、出張授業数の増加にあわせた洗練化が主となった。保育園で主に行っているプログラム及びプログラムと関連付けて実施するアクティビティは以下の通り。

		自然体験活動分野	食と暮らし分野	自然エネルギー分野（地球環境問題含む）
保育園 幼稚園	プログラム	いも虫のたからぶくろ ※ はらっぱのかくれんぼ大会 ※ どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ ※ 木の精キロリのひみつのいのり ※ 森と子どものひみつ作戦 ※ （木の表情ってどんなだろ） 花と葉っぱでファッションショー	大豆ってすごいぞ ※ 綿を育てよう 綿から人形を作ろう 土のこびと ※	風となかよし お日様となかよし （鏡で光を反射させよう）
	アクティビティ	キロリのおにごっこ コウモリとガ 落ち葉じゃんけん 音いくつ 同じものはどこにある		

※オリジナル紙芝居を利用した活動

自然エネルギー分野の「お日さまとなかよし」の鏡遊びなどのニーズが高まっているほか、小学校向けに実施している「水となかよし」の園児向けの活動への要望などが高まっており、次年度以降の新規プログラム開発へとつなげていく。

- 小中学校でのプログラム開発は、研究会でのプログラム検討が主となった。小中学校で行っているプログラムは以下の通り。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>自然体験活動分野</th><th>食と暮らし分野</th><th>自然エネルギー分野（地球環境問題含む）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">小学校</td><td>低</td><td>季節の自然で遊ぼう</td><td>コンポストをつくろう</td><td>風となかよし
お日様となかよし
（鏡で光を反射させよう）</td></tr>
<tr><td>中</td><td>好きな色はどこにある
そっとのぞいて見てみよう
学校の木を決めよう
ヤゴ救出大作戦
チョウを育てよう</td><td>大豆ってすごいぞ
学校産のとうふを作ろう
手前みそを作ろう
綿を育てよう
綿から糸を紡ごう
地球温暖化を知ろう</td><td>風となかよし
（風力発電機をつくろう）
お日さまとなかよし
水となかよし</td></tr>
<tr><td>高</td><td>わたしの木・ぼくの木
ビオトープをつくろう</td><td>食べものはどこから
ペットボトルの水
食品ロスを減らそう
プラスチックごみを減らそう</td><td>放射線から身体を守る生活の仕方
エネルギー源を考える</td></tr>
<tr><td colspan="2">中学校</td><td colspan="3">分野横断型プログラム
（まちづくり）住み続けたい板橋のまちを考えよう　50年後の板橋を考えよう
（キャリア教育）環境キャリアを考えよう</td></tr>
</table>

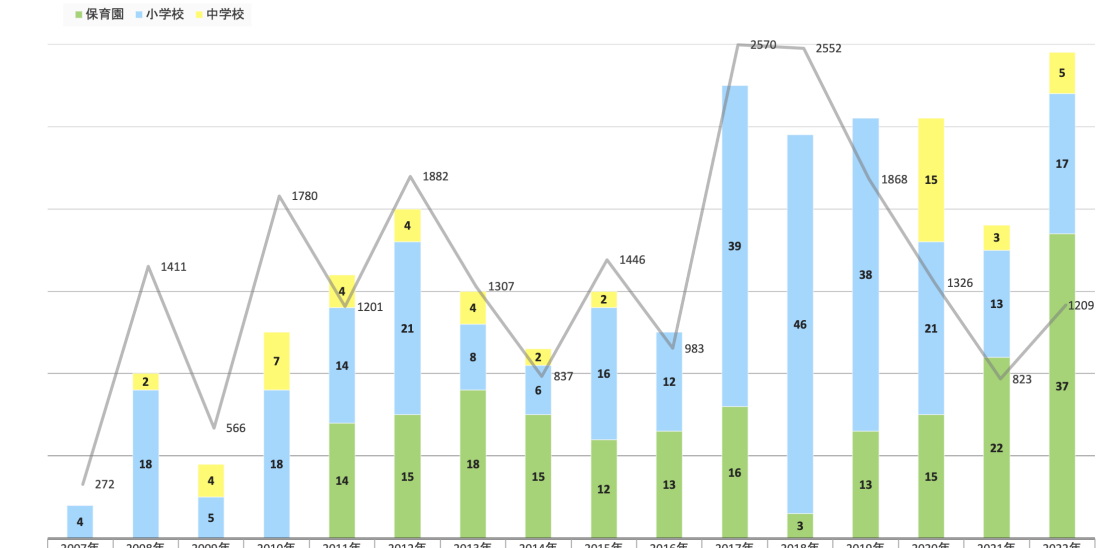
昨年度より検討している「住み続けたい板橋のまちを考えよう」のプログラムづくりを進め、環境学習体験会での実証実践となった。また、キャリア教育の視点を加えた環境教育プログラム「環境キャリアを考えよう」を新規で検討し、環境学習体験会での実証までつなげた。一昨年度・昨年度環境学習体験会を中心に検討を進めた「食品ロスを減らそう」「プラスチックごみを減らそう」についても資料の検討等を行った。

A.1.2 環境教育プログラムの発信活動

- 2015 年に出版した「みんなワクワク どんどん使える センスオブアースの環境教育実践集」の販売に関しては課題が残った。
- HP 版プログラムバンクを適宜更新した。
- 環境教育プログラムに関する資料を 3 月に発行した。

A.1.3 環境教育プログラムの実践活動

- 29 の保育園・小学校・中学校で、年間 59 回（うち 2 回があいキッズ、1 回が部活動）の出張授業を実施した。1,209 人（うち　67 人があいキッズ、12 人が部活動）の園児・児童・生徒に環境教育の機会を提供することができた。この結果、これまでの累計で、541 回の授業を実施し、その対象人数は 22,033 人となった。昨年度と比較し、保育園・小学校・中学校それぞれ回数が増えており、全体的な環境教育への関心の高まりや、新型コロナウイルス感染症による影響が低下してきていることが窺える。
  2017 年度から始まったエコポリスセンターからの委託事業により、上記 59 件のうち 46 件がエコポリスセンターとの協働であった。

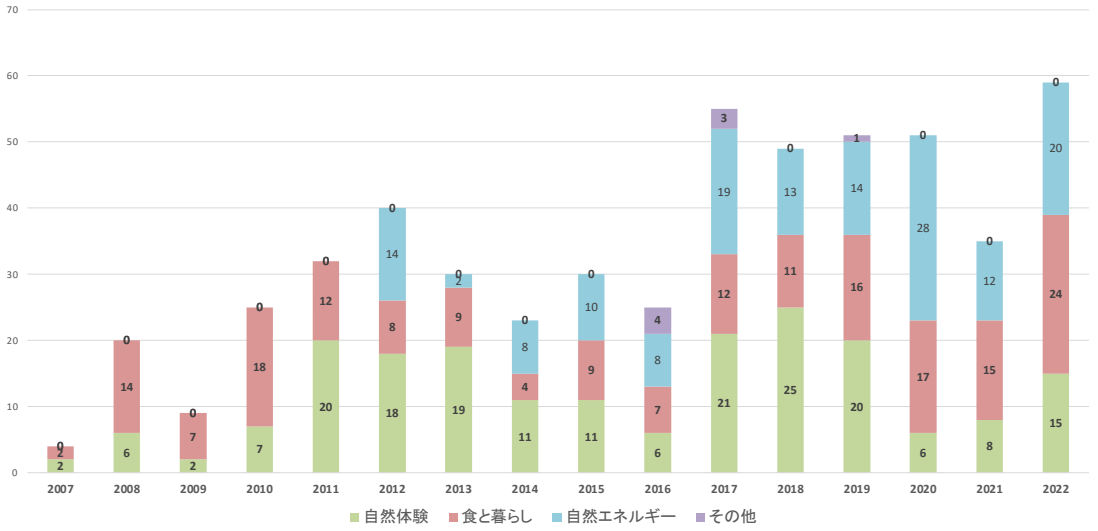


	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
中学校		2	4	7	4	4	4	2	2					15	3	5
小学校	4	18	5	18	14	21	8	6	16	12	39	46	38	21	13	17
保育園					14	15	18	15	12	13	16	3	13	15	22	37

プログラムの内訳では、食と暮らし分野の「大豆ってすごいぞ」「綿を育てよう」、大豆栽培後の「手前みそをつくろう」、綿栽培後の「育てた綿で人形をつくろう」など、タネから育てて作るプログラムが幅広く受け入れられる傾向が続いている。「土のこびと」についても保育園・幼稚園を中心に広がりが見えている。

自然エネルギー分野（地球温暖化などの地球環境問題含む）では「風となかよし」「お日さまとなかよし」が保育園・幼稚園を中心に引き続き人気を保っている。

ここ数年新型コロナウイルス感染症の影響もあり件数を減少させていた自然体験活動分野に関しても、「はらっぱのかくれんぼ大会」「そっとのぞいて見てみよう」などの自然と直に接する活動のほか、「どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ」「葉っぱと花でファッションショー」など造形活動を伴うプログラムも人気で、授業数が徐々に戻りつつある。



- 保育園・幼稚園（同年代を対象とした私立学校を含む）における取り組みは、16 園で計 37 回に及び、その対象者数は 526 人となった。保育園・幼稚園での実践の内訳は以下の通り。

日付	保育園・幼稚園名	対象（人数）	プログラム名	備考
04月19日	東京日仏国際学園	5年生（12人）	いも虫のたからぶくろ	
05月17日	東京日仏国際学園	環境クラブ（10人）	綿・大豆を育てよう	
05月23日	ほっぺるランド成増	5歳児（15人）	綿を育てよう	
05月24日	板橋区立高島平もみじ保育園	5歳児（19人）	綿を育てよう	
05月27日	第二たつのこ保育園	5歳児（17人）	土のこびと	
05月30日	キッズタウンむかいはら保育園	5歳児（17人）	お日さまとなかよし	
06月08日	ほっぺるランド板橋小豆沢	5歳児（16人）	土のこびと	
06月15日	ほっぺるランド板橋小豆沢	4歳児（15人）	土のこびと	
06月21日	東京日仏国際学園	環境クラブ（5人）	風となかよし	
07月19日	東京日仏国際学園	環境クラブ（5人）	そっとのぞいてみてみよう	
07月27日	明日葉保育園 蓮根園	5歳児（16人）	お日さまとなかよし	
07月28日	明日葉保育園 蓮根園	4歳児（15人）	風となかよし	
08月16日	東京日仏国際学園	環境クラブ（6人）	お日さまとなかよし	
08月25日	板橋区立かないくぼ保育園	5歳児（14人）	土のこびと	
09月02日	板橋区立かないくぼ保育園	5歳児（17人）	風となかよし	
09月05日	さくらさくみらい本町	4歳児（17人）	風となかよし	
09月08日	きよみ幼稚園	5歳児ゾウ組（27人）	お日さまとなかよし	
09月08日	きよみ幼稚園	5歳児クマ組（23人）	お日さまとなかよし	
09月13日	白鳩保育園	4歳児（17人）	はらっぱのかくれんぼ	
09月15日	きよみ幼稚園	5歳児キリン組（28人）	お日さまとなかよし	
09月20日	東京日仏国際学園	環境クラブ（4人）	水となかよし	
09月26日	さくら保育園	5歳児（13人）	風となかよし	
09月29日	ほっぺるランド成増	3・4歳児（12人）	風となかよし	
10月07日	ほっぺるランド成増	3・4歳児（17人）	お日さまとなかよし	
10月18日	東京日仏国際学園	環境クラブ（5人）	どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ	
10月28日	白鳩保育園	5歳児（20人）	どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ	
11月02日	白鳩保育園	3歳児（19人）	葉っぱや花でファッションショー	
11月08日	ほっぺるランド成増	5歳児（13人）	育てた綿で人形をつくろう	
11月11日	板橋区立高島平もみじ保育園	5歳児（20人）	育てた綿で人形をつくろう	
11月15日	東京日仏国際学園	環境クラブ（10人）	木の精キロリの不思議ないのり	
11月16日	板橋区立赤塚新町保育園	5歳児（18人）	風となかよし	
12月01日	板橋区立坂下三丁目保育園	5歳児（19人）	綿から糸をつむごう	
12月20日	東京日仏国際学園	環境クラブ（5人）	季節の自然で遊ぼう	
01月17日	東京日仏国際学園	環境クラブ（4人）	ゴミの分別を考えよう	
03月14日	東京日仏国際学園	環境クラブ（3人）	木の表情ってどんなだろう	
03月17日	こぶし保育園	5歳児（15人）	お日さまとなかよし	
03月24日	つつじ保育園	5歳児（18人）	風となかよし	

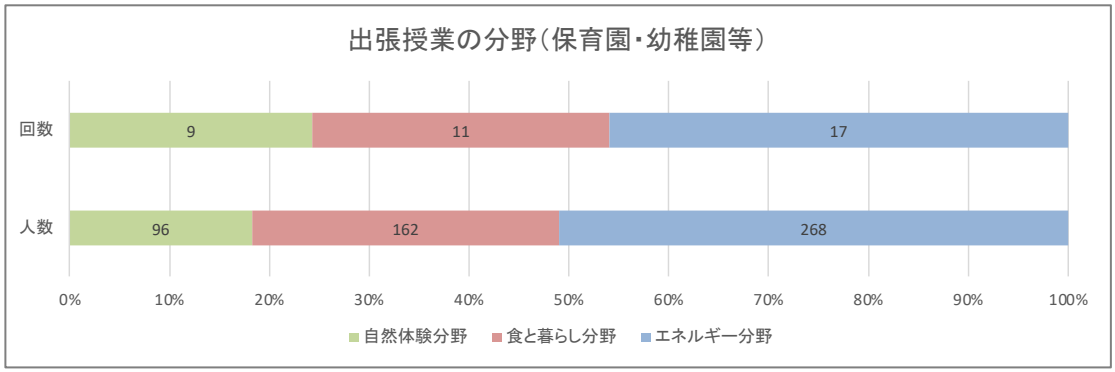
プログラムの内訳では、今年度は実施分野が多岐に渡った。

自然エネルギー分野の「風となかよし」が８回、「お日さまとなかよし」が８回のほか、「水となかよし」についても幼児編への要望に対応する形で 1 回、合計 17 回の授業を実施した。

食と暮らし分野で「綿を育てよう」「大豆ってすごいぞ」の栽培に向けたプログラムと、綿を育てた後の「育てた綿で人形をつくろう」で合計６回の授業を行ったほか、堆肥づくりの活動である「土の小人」が４回、ごみの分別を考える活動が１回、合計

11 回の授業を行なった。

自然体験活動分野に関しても、「いも虫のたから袋」「はらっぱのかくれんぼ大会」といった自然と直に親しむ活動が 5 回のほか、「どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ」「葉っぱや花でファッションショー」など自然物を用いた造形活動が 4 回、合計 9 回の授業を行なった。



保育園・幼稚園等では、7 園（区立保育園 1 園・私立保育園 5 園・同年代を対象とした私立学校 1 校）で新たな実践を行った。その結果、対象となった保育園・幼稚園は 16 園（区立保育園 4 園・公設民営保育園 1 園・私立保育園 9 園・私立幼稚園 1 園・同年代を対象とした私立学校 1 校）であった。区立保育園（公設民営含む）・区立幼稚園全 40 園に対して、これまでの活動を総合すると、32 園で授業を実践しており、その広がりは 80%に至っている。

相生	**赤塚**	**赤塚新町**	あさひが丘	**板橋**	大谷口
かないくぼ	**上板橋**	**紅梅**	**小桜**	**さかうえ**	**坂下三丁目**
志村橋	**新河岸**	高島平あやめ	**高島平くるみ**	**高島平けやき**	高島平さつき
高島平すみれ	**高島平つくし**	**高島平つぼみ**	**高島平もみじ**	**東新**	**ときわ台**
中板橋	**西台**	**西前野**	**蓮根**	**緑が丘**	みなみ
南前野	**向台**	**向原**	**弥生**	**ゆりの木**	**若木**
こぶし	にりんそう	**高島幼稚園**	新河岸幼稚園		

2022年度 実施	**2022年度 新規開拓**	**過去の実施**

※ 2022年度実施の ほっぺるランド成増・第二たつのこ保育園・キッズタウンむかいはら保育園・つつじ保育園・ほっぺるランド板橋小豆沢・明日葉保育園 蓮根園・さくらさくみらい本町・白鳩保育園・さくら保育園は私立保育園、きよみ幼稚園は私立幼稚園、東京日仏国際学園は同年代を対象とした北区内の私立学校（下線は新規開拓園）

※ 過去実施の ひまわりキッズガーデン城山・ひまわりキッズガーデン大原・栄町保育園・志村さかした保育園・麦の子保育園・大山西町保育園・仲宿保育園・ほっぺるランド大谷口・さくらさくみらい中板橋・ソラスト成増保育園 は私立保育園

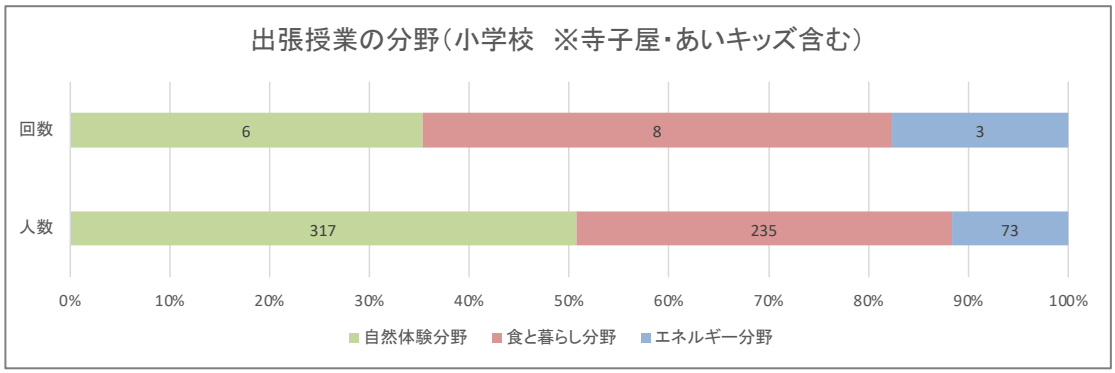
- 小学校における取り組みは、10 校で計 17 回（うち 2 回があいキッズ）に及び、その対象者数は 625 人（うち 67 人があいキッズ）となった。今年度は寺子屋での指導はなかった。小学校での実践の内訳は以下の通り。

日付	学校名	対象（人数）	プログラム名	備考
04月16日	板橋区立高島第六小学校	5年生（77人）	ビオトープをつくろう	
05月09日	板橋区立北野小学校	3年生（108人）	そっとのぞいてみてみよう	
05月12日	板橋区立高島第五小学校	3年生（32人）	綿を育てよう	
05月31日	板橋区立緑小学校	4年1組（32人）	大豆ってすごいぞ	
06月02日	板橋区立緑小学校	4年2組（30人）	大豆ってすごいぞ	
06月07日	板橋区立上板橋小学校	あいキッズ（42人）	コンポストをつくろう	
06月21日	板橋区立緑小学校	1年2組（29人）	そっとのぞいてみてみよう	
06月22日	板橋区立緑小学校	1年1組（29人）	そっとのぞいてみてみよう	
07月14日	板橋区立徳丸小学校	特別支援学級（13人）	水となかよし	
10月11日	板橋区立北前野小学校	2年生（遠足）（49人）	季節の自然で遊ぼう	
10月19日	新島村立新島小学校 ※	児童（14人）	地産地消の作物を育てよう	
10月22日	板橋区立板橋第七小学校	3年1組（28人）	大豆ってすごいぞ	
10月22日	板橋区立板橋第七小学校	3年2組（25人）	大豆ってすごいぞ	
11月24日	板橋区立高島第五小学校	3年生（32人）	綿から糸をつむごう	
11月28日	板橋区立中台小学校	あいキッズ（25人）	木の精キロリの不思議ないのり	
02月02日	板橋区立緑小学校	1年2組（31人）	風となかよし	
02月02日	板橋区立緑小学校	1年1組（29人）	風となかよし	

※オンライン授業

プログラムの内訳では、食と暮らし分野で「綿を育てよう」「大豆ってすごいぞ」、新島の地産地消の作物の栽培に向けた授業など、栽培活動で合計 6 回の授業、栽培した綿を使った「綿から糸を紡ごう」の授業を 1 回行った。その他、あいキッズで「コンポストを作ろう」を 1 回実施し、合計 8 回の授業を実施した。

そのほか、自然エネルギー分野では「風となかよし」「水となかよし」で合計 3 回、自然体験活動分野では「そっとのぞいて見てみよう」が 3 回、「季節の自然で遊ぼう」、学校から要望に応える形での実施となった「ビオトープを作ろう」、あいキッズでの「木の精キロリの不思議ないのり」が各 1 回で、合計 6 回の授業を実施した。



小学校では、今年度 2 校（オンライン含む、あいキッズを除く）で新たな実践を行った。新島の小学校でのオンライン授業など出張授業の広がりが見られた。その結果、対象となった小学校は計 8 校（板橋区内 7 校・他地区 1 校、あいキッズを除く）であった。区内小学校に関して、これまでの活動を総合すると、46 校で授業を実践しており、その広がりは約 88%に至っている。

志村	志村第一	志村第二	志村第三	志村第四	志村第五
志村第六	前野	中台	舟渡	新河岸	富士見台
蓮根	蓮根第二	志村坂下	北前野	緑	若木
板橋第一	板橋第二	板橋第四	板橋第五	板橋第六	板橋第七
板橋第八	板橋第十	金沢	中根橋	加賀	上板橋
上板橋第二	上板橋第四	常盤台	桜川	弥生	大谷口
向原	赤塚	成増	赤塚新町	紅梅	北野
成増ヶ丘	下赤塚	徳丸	三園	高島第一	高島第二
高島第三	高島第五	高島第六	天津わかしお		

2022年度 実施	2022年度 新規開拓	過去の実施

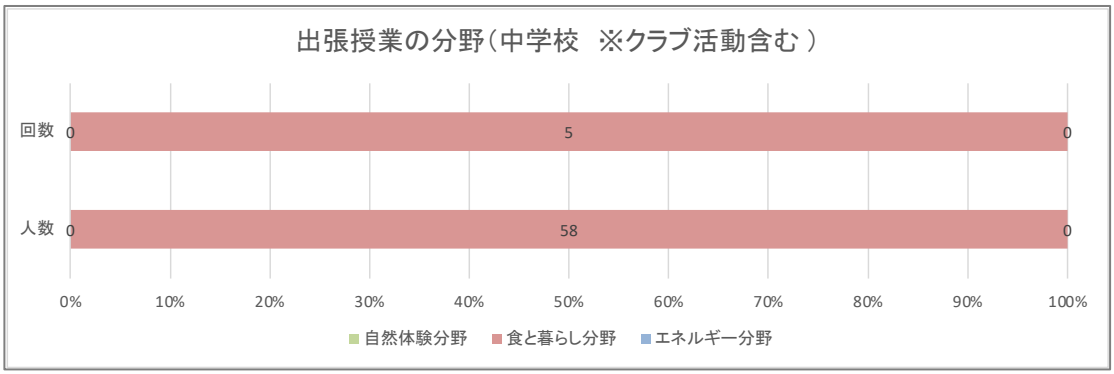
※ 2022年度は上記のほかに、新島村立新島小学校でオンライン授業を実施した。

※ 2022年度実施の 上板橋小学校・中台小学校はあいキッズでの実践のため除外している。

- 中学校における取り組みは、3 校で計 5 回（うち 1 回が部活動）に及び、その対象者数は 58 人（うち 12 人が部活動）となった。中学校での実践の内訳は以下の通り。

日付	中学校名	対象（人数）	プログラム名	備考
06月16日	板橋区立高島第一中学校	特別支援学級（11人）	大豆ってすごいぞ	
12月06日	板橋区立西台中学校	環境科学部（12人）	ペットボトルの水	
12月09日	板橋区立高島第一中学校	特別支援学級（11人）	綿から糸をつむごう	
12月16日	新島村立式根島中学校 ※	全校生徒（13人）	プラスチックごみを減らそう	
01月19日	板橋区立高島第一中学校	特別支援学級（11人）	手前みそを作ろう	

プログラムの内訳は、特別支援学級を対象とした「大豆ってすごいぞ」「手前みそをつくろう」「綿から糸を紡ごう」で計 3 回のほか、部活動での「ペットボトルの水」、式根島の中学校（オンライン）での「プラスチックごみを減らそう」各 1 回で、いずれも食と暮らし分野のプログラムを合計 5 回実施した。



- 高等学校では、本年度、出張授業の取り組みは行わなかった。
- これらは、SOE のメンバーが中心になりながら、ボランティアに支えられて成り立っている。今年度は 58 回のうちオンラインでの授業 2 回を除く 56 回の活動で、延べ 208 人が参加した。1 回あたりの参加者は 3.7 人で、昨年と比べ増加した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響でボランティアの募集に難しさがあったが、より一層のスタッフの充実が求められる。

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	**2022**
回数	5	23	10	28	34	41	31	23	30	20	55	49	51	51	38	**56**
スタッフ数	-	-	54	130	147	179	98	73	88	53	206	183	203	194	119	**208**
1回あたり	-	7.4？	5.4	4.6	4.3	4.4	3.2	3.2	2.9	2.7	3.7	3.7	4.0	3.8	3.1	**3.7**

A.2　環境教育指導者（主体）養成事業

A.2.1 環境教育ボランティア・インターンシップ

- ボランティアの募集に向けて､2022 年 7 月よりボランティア募集サイト Activo の有償版を利用し、34 名のインターネット上での申し込みがあり、うち 7 名が実際の活動に参加した。WEB サービスを活用した数値のため、初回参加者の参加の比率についての評価は難しいが、より利用者のニーズに即した対応を心がけていく。また、継続参加に繋がる働きかけ、参加したボランティアスタッフの学びの機会の提供などにも力を入れていく必要がある。

	2022年									2023年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
応募数				7	4	3	4	5	3	2	5	1	34	100%
初回参加者数				2	1	1	2	0	0	0	1	0	7	21%
（うち複数回参加者数）				1	1	0	1	0	0	0	0	0	3	9%

A.2.2 地域主体の支援（プログラムの共同開発ほか）

- 大学のゼミ活動など、環境教育の地域における担い手を育成する事業を継続している。本事業年度は、東京家政大学の宮地ゼミの支援が中心となり、2 月 19 日の木育体験・講演会における箸づくり体験の指導を支援した。

A.2.3 教員養成・教員向けの講座

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

A.3　環境教育協働推進事業（環境教育ネットワーク構築活動）

A.3.1 環境教育協働実践

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

A.3.2 プログラムの共同開発

- 長年寺田が関わってきた板橋区環境教育プログラム部会が昨年度より再編された結果、今年度も該当の活動を実施しなかった。

B　環境保全の事業

B.1　自然環境保全活動

B.1.1 ビオトープ保全活動

- 蓮根第二小学校のビオトープについて、引き続き、定例の保全活動に参加した。
- 板橋区立高島第六小学校・板橋区立三園小学校・板橋区立志村第一小学校・板橋区立板橋第二小学校より学校ビオトープの改修等についての相談を受け、状況に応じて視察及び改修等に向けた提案を行った。

B.1.2 ごみ拾い活動

- 全国一斉水質検査に関して、今年度は該当の活動を実施しなかった。

B.1.3 緑地の保全・拡張に向けた活動

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

B.2　地産地消推進活動

B.2.1 栽培活動

- 柳が中心に大豆・棉の栽培を進め、収穫物を出張授業・イベントへと活用した。

B.3　自然エネルギー推進活動

B.3.1 自然エネルギー普及活動

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C　社会教育の事業

C.1　エコツアー事業

C.1.1 沖縄・備瀬エコツアー

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.1.2 三宅島エコツアー

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.2　自然観察会・各種環境講座

C.2.1 自然観察会

- 10 月 2 日に環境教育プログラム研究会の一環として、NPO 法人里山環境プロジェクトはとやまの富田恵理子氏の案内のもと、石坂の森観察・体験会を行い、19 人が参加した。

C.2.2 環境講座

- 2 月 19 日に東京家政大学宮地ゼミの学生とともに、自然環境の保全に関する講演会「自然を守り とりもどす」を実施。講師には埼玉県生態系保護協会事務局長の前田博之氏をお迎えした。講演のほか、宮地ゼミの学生が環境学習体験会での学びを生かして、箸づくり体験の機会を提供した。一般市民・学生あわせて 28 人が参加した。なお、本イベントはエコポリスセンターのエコポリゼミナールの枠組みにて開催した。
- 2023 年度開催の「いたばしエコフェスタ 2024～ユース環境活動発表会～」の実施に向け、サポーター会議の立ち上げを支援した。今後は有志が会議に参加し、事務局等を担う。
- 【3.11 から未来をひらく会】の一員として、3 月 21 日に「原発を止めた裁判長」上映会、及び福井地方裁判所元裁判長裁判官である樋口英明氏の講演会を開催した。

C.3　講師派遣による環境教育プログラム実践

C.3.1 児童館における環境教育プログラム実践

- 5 月 19 日に板橋区立はすのみ児童館において「綿を育てよう」の活動を行い、親子 24 人が参加した。また、児童館において育てた綿などを用いて、2 月 10 日に「綿から糸を紡ごう」の活動を行い、親子 27 人が参加した。これらは、いずれもエコポリスセンターとの協働事業における地域エコロジーの枠組みで実施した。
- 6 月 20 日に板橋区立しらさぎ児童館において「綿を育てよう」の活動を行い、親子 17 人が参加した。これはエコポリスセンターとの協働事業における地域エコロジーの枠組みで実施した。

C.3.2 社会教育施設等における環境教育プログラム実践

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.3.3 その他団体等における環境教育プログラム実践

- 10 月 6 日に中央・城北職能開発センター板橋校において「住み続けたい私たちのまちを考えよう」の活動を行い、実務作業科の学生 18 名が参加した。これはエコポリスセンターとの協働事業における出張授業の枠組みで実施した。

C.4　各種イベント出展

C.4.1 イベント向けプログラム研究開発

- イベントのテーマや環境などを踏まえ、随時プログラムの準備を進めた。

C.4.2 外部イベント出展

- 4月に代々木公園でのアースデイと並行して開催しているアースデイいのちの森に関して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベントが中止となった。

C.4.3 板橋区協働イベント出展

- 5 月 15 日に板橋区（緑と公園課）主催のグリーンフェスタに出展。「風となかよし」のかざぐるま作りの体験のほか、メインステージにて「いも虫のたからぶくろ」の活動を行なった。
- 8 月 4 日にエコポリスセンターが主催する夏休みエコスクールに出展。「風となかよし～紙のかざぐるまで、ピカっと光る発電ができるかな」というタイトルで、かざぐるま作りと風力発電機作りを実施し、10 人が参加した。
- 2 月に環境なんでも見本市に出展。紹介文や活動写真、紙芝居を紹介した。

C.5　板橋区指定管理者受託

C.5.1 板橋区立ボローニャこども絵本館管理業務委託

- 平成 30 年度をもって、委託事業は終了となった。

D　まちづくりの事業

D.1　地域団体連携事業

D.1.1 地域環境団体との連携事業

- 板橋区を中心とした範囲で活動する環境団体との連携を進めるべく検討を行っている。

E　福祉の事業

E.1　福祉団体連携事業

E.1.1 地域福祉団体との連携事業

- 板橋区を中心とした範囲にある福祉団体と環境の分野での連携を進めるべく検討を行った。

F　学術・文化・芸術又はスポーツの振興事業

F.1　文化団体連携事業

F.1.1 地域文化団体との連携事業

- 板橋区を中心とした範囲で活動する文化団体やスポーツ団体との連携により、文化・スポーツと環境問題とのつながりを周知する活動を検討している。

G　団体運営業務

G.1　組織運営

G.1.1 一般管理

- 5 月に 2022 年度の年次総会を開催。活動報告・会計報告・活動方針・会計方針について報告し承認を得た。

G.1.2 理事・事務局関連

- 運営体制の強化に向けて、ニュース発行日に合わせて、月 1 回の頻度で理事会を開催した。理事を中心としたイベントの運営体制の確立や 20 周年に向けた活動の計画などを議論した。

- 事務局では、活動報告・会計報告に関して、書類を整理し報告にあたる。その他、運営・経理・広報などの事務局業務を随時行う。

G.1.3 会員関連

- 会員の呼びかけを進め、正会員数は 35 人、賛助会員数は 2 人となった。

G.1.4 記念活動

- SOE ニュース 200 号の発行並びに 2024 年度に迎える設立 20 周年に向け、記念活動実施に向けた方向性を確認した。記念出版と出版に合わせた祝う会の開催を行うこととし、具体的な内容については、2023 年度以降に準備会等を立ち上げて調整することとした。

G.2 経理関係

G.2.1 一般会計

- NPO 法人会計基準協議会の定める NPO 法人会計基準に基づいた会計処理を実施した。

G.2.2 助成金・コンクール等申請関連

- 2022 年度に向けた助成金の申請を検討し、今年度は申請を見送った。

G.3 広報関連

G.3.1 ニュース発行関連

- 8 月を除く年間 11 回のニュース発行を実施。板橋区内の全保育園・小中学校や教育委員会・各種報道関係など、毎月約 3,500 部を発送した。今年度から SOE ニュースを印刷業者へ発注し、カラー印刷へと移行した。より鮮明に活動の様子を伝えられるようになった一方で、費用面の課題が残っている。
- 2022 年 9 月より SOE ニュースの PDF データを送付するメールニュースの配信を開始した。今後登録者数の増やし、リード層であるニュース読者の拡大を目指していく。
- ニュース発送作業を兼ねた定例のワークショップも継続的に実施した。11 回の活動で、延べ 78 人の参加があった。1 回あたりの参加者は 7.1 人となり、昨年の 6.5 人から増加した。この背景には、理事会を同日開催としたことによるコアスタッフの参加者数の増加や、初回参加のボランティア向けの説明会を設定したことによるボランティアの参加を受け入れる窓口としての役割を担ったことなどが考えられる。

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	**2022**
回数	-	-	17	14	18	22	22	17	13	13	11	11	11	9	10	**11**
スタッフ数	-	-	134	85	91	115	108	98	88	73	68	63	74	55	65	**78**
1回あたり	-	-	7.9	6.1	5.1	5.2	4.9	5.8	6.8	5.6	6.2	5.7	6.7	6.1	6.5	**7.1**

G.3.2 ホームページ関連

- オフィシャルサイトを定期的に更新し、イベントの案内や団体の周知を進めた。
- 特設ページ「SOE プログラムバンク」では環境教育のプログラムや資料などを発信した。
- Facebook ページに関しても、随時更新した。

G.3.3 団体紹介

- センスオブアースの活動紹介資料を随時改定した。

G.4 渉外関連

G.4.1 協働推進関係

- 2017 年度からのエコポリスセンターの指定管理者変更を受けて、新管理者の板橋エコみらいプロジェクトの担当者と環境教育の協働や運営に関する意見交換を行う。計 4 回行い、速やかで発展性のある協働での出張授業のスタイルを作り上げることができた。